

「入学式」を行いました

9日(水)に、爽やかな春の陽ざしに包まれ、第22回入学式を行いました。新1年生の皆さんは、担任の有富先生の呼名に「ハイッ」としっかりした声で返事をしたり、お話を静かに聞いたりして、立派な姿で式に参加しました。代表として言葉を述べた新1年生のE・Rさん、K・Mさん、さらに、在校生代表として歓迎の言葉を述べた6年生のI・Rさん、ともに素晴らしい言葉と態度でした。

そして、入学式翌日から麻生学園小学校での新しい生活をスタートさせています。これから、毎日の学習や生活を楽しく、そして、しっかりと過ごしてほしいと思います。



学校の教育活動から

〇フレンドシップフェスタ!

12日(土)に、フレンドシップフェスタ(歓迎遠足)を行いました。近隣の公園に行って、5年生の運営委員のみなさんの見事な進行のもとに「歓迎集会」をしました。1年生の自己紹介をしたり、ウォークラリーをしたり…。「歓迎集会」の後には、お弁当やお菓子を食べたり、広場で遊んだりして楽しい時間を過ごしました。



特に、1年生の自己紹介は立派でした。全校のみんなの前に立ち、自分の名前と一言(将来の夢、得意なこと、好きなこと等)を大きな声でしっかり伝えた後、「よろしくお願いします」と言うことができていました。とても立派な1年生の姿に、全校のみんなから大きな拍手が送られていました!

お知らせ

〇笹渕教諭の病状について

新年度4年生の担任をすることになっている笹渕教諭ですが、春休みの作業中に右腕をひどく打ち、骨折をしておりました。手術をし、現在は入院してリハビリをしながらの療養が続いている状態です。今後、どの時点で学校に復帰できるか未定ですが、その間、4年生の子ども達の指導は、副担任の日永田を中心に職員で分担して進めております。

また、笹渕教諭は音楽専科として全学年の音楽の指導も担当しているため、**音楽科については、子ども達への指導がしばらくはできない状況にもなる場合もあります**(学年によっては学級担任が音楽の指導を行う場合もあります)が、何卒ご了承ください。

感じたことから

〇とんぼのめがね

右は、ご存じの童謡「とんぼのめがね」の歌詞です。童謡ですが、その歌詞には、親や大人の願いが表現されているように感じます。(それは、本校の教育理念である「豊かな情操の育成」と「高い学力の育成」にもつながります。)

すなわち、大きな目を輝かせて空を飛んでいる(自由に活動している)とんぼ(子ども)には、

- ・ 青い空を飛んで目が水色になる
→ **清らかなものを心に映してほしい(豊かな情操育成)**
- ・ お天道様を見て目がぴかぴかになる
→ **高い目標をもって目を輝かせ、頑張してほしい(高い学力への意欲)**
- ・ 夕焼け雲を見て目が赤色になる
→ **精一杯活動を終えて帰ってきた子どもに温かな親の愛情を感じてほしい**

作詞の額賀誠志さんのお気持ちがどうであったかわかりませんが、親(大人)としての願いが詩に込められているように思います。今年度の学校生活で、子どもたちには、「澄んだ心」を膨らませながら「目標に向かう意欲」をもって活動できるよう努めていきたいと思っています。そして、精一杯活動して帰ってきた子どもたちを保護者の皆様の「温かな愛情」で包んでいただければと思います。そのような1年になれば願っています。

「とんぼのめがね」 作詞 額賀誠志

とんぼのめがねは 水いろ めがね
青いおそらを とんだから とんだから

とんぼのめがねは ぴかぴか めがね
おてんとさまを みてたから みてたから

とんぼのめがねは 赤いろ めがね
夕焼け雲(ゆうやけぐも)を
とんだから とんだから

